特定非営利活動法人ＮＰＯサポートちがさき　平成 26 年度(2014 年度) 事業報告

(平成 26 年 4 月 1 日より平成 27 年 3 月 31 日まで)

1. 茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理運営とこれに付随する事業

内　　容　施設管理及び市民活動推進のための事業、多様な主体による協働の仲介を行った。

＊事業の詳細は別紙に記載する。

日　　時　4 月～3 月・通年

場　　所　茅ヶ崎市民活動サポートセンター他

従事者人員　17 名

受益対象者　公益活動団体及び関心のある個人

支　出　額　27,235,995 円

2. 社会貢献活動に関する相談・助言事業

(1)余暇支援ネットワーク

内　　容　障がい児・者の余暇支援ネットワークの仲介、「キラキラちゃんぷる音楽祭」開催を支援した。

日　　時　平成 26 年 4 月～11 月、10 月 19 日(土)12 時 30 分～14 時 30 分

場　　所　神奈川県立茅ヶ崎養護学校

従事者人員　2 名

受益対象者　福祉関係者及び一般市民

支　出　額　10,000 円

(2)まちづくりスポット茅ヶ崎組成支援

内　　容　茅ヶ崎南西部地区に誕生したまちづくりの交流スペース「まちスポ茅ヶ崎」の運営を行う特定非営利活動法人まちづくりスポット茅ヶ崎の組成支援を行った。

日　　時　4 月～3 月・通年

場　　所　みんなの会議室、茅ヶ崎市民活動サポートセンター他

従事者人員　4 名

受益対象者　茅ヶ崎市南西部地区住民及び一般市民

支　出　額　2,560,725 円

3. 社会貢献活動を行う個人および団体相互の交流事業

単独事業としては実施しなかったが、企業と NPO のマッチング事業のなかで相互の交流を図ることができた。

4. 社会貢献活動に携わる人材育成事業

(1)神奈川県ボランタリー団体成長支援

内　　容　「若者定着支援による団体基盤強化および活性化促進事業」として、若者のコーディネート経験のあるスタッフを伴走者として派遣し、活動の活性化、組織の新陳代謝を促すことができた。

日　　時　7 月～12 月

場　　所　特定非営利活動法人地球の木事務所他

従事者人員　1 名

受益対象者　特定非営利活動法人地球の木
支　出　額 569,160 円

5. 情報収集と提供事業

（1）コミュニティビジネス応援プロジェクト

内　　容 茅ヶ崎らしいコミュニティビジネス事例のひとつ、コミュニティ農園「RIVENDEL」で大人の遠足を実施。新規事例として「精進料理研究所」を選定した。
日　　時 平成 26 年 10 月 19 日（日）14:00～18:00
場　　所 コミュニティ農園「RIVENDEL」
従事者人員　3 名
受益対象者　一般市民 14 名
支　出　額 890 円

（2）みらくる～13 歳から学ぶボランティアハンドブック～

今年度は実施しなかった。

（3）会員向け情報紙「ハーモニー」の発行

内　　容 年間4回発行し、会員、賛助会員、サポーターズからの寄稿により日頃の活動や想い、また自主事業なども紹介した。
日　　時 平成 26 年 6 月、9 月、12 月、平成 27 年 3 月
場　　所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他
従事者人員　3 名
受益対象者　市民活動に関心のある市民
支　出　額 5,415 円

6. 政策提言・協働に関する調査研究事業

（1）新しい公共円卓会議

内　　容 茅ヶ崎市と連携し、「新しい公共円卓会議事務局との意見交換会」及び「新しい公共円卓会議」の運営および事務局業務を行った。また、同会議では提案型民間活用制度のモデル事業 3 件を検討し、今後の方向性について活発な意見交換を行った。
日　　時 4 月～3 月・通年
円卓会議 6 月 19 日、3 月 26 日、意見交換会　12 月 4 日、3 月 5 日
場　　所 茅ヶ崎市役所他
従事者人員　6 名
受益対象者 新しい公共に関心がある市民、企業、NPO、行政
支　出　額 642,000 円

（2）企業と NPO のマッチング

ア ラスカ茅ヶ崎C-square活用

内　　容 ラスカ茅ヶ崎の空テナントスペース C-Square 活用の仲介を行い地域のヒト・モノ・情報のハブ

となって、NPO、企業、行政、大学などの様々なカタチでコラボが生まれた。また、この事業に、「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム 2014」インターンを受け入れた。

日　　時　7月～11月、1 月～3 月、「企業×NPO×大学×行政の交流サロン」11 月 6 日

場　　所　ラスカ茅ヶ崎他

従事者人員　4名

受益対象者　市内企業、NPO、行政及び企業との協働に関心がある市民

支　出　額　73,018 円

イ「介護食品普及支援・地域実証事業」支援

内　　容　介護・福祉農園普及推進会が実施した農林水産省「介護食品普及支援・地域実証実験事業」（湘南・茅ケ崎地域の関係者と連携した食支援の取組み）にアドバイザーとして協力した。

日　　時　7月～3 月

場　　所　茅ヶ崎市役所、文教大学、茅ヶ崎市民活動サポートセンター他

従事者人員　2 名

受益対象者　市内高齢者、介護食に関心がある企業、NPO、行政及び市民

支　出　額　0 円

7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

実施しなかった。

以上

【別紙】

1．茅ヶ崎市民活動サポートセンター管理運営とこれに付随する事業

総括

今年度のワイワイまつりでは、厳しい天候のなかでNPOの内なる力が発揮され、新たな支え合いのエネルギーや、行政や企業等との顔の見える関係づくりの楽しさを実感することができた。NPO の熱い思いや踏ん張りを、多様なセクターとのネットワークづくりにつなげられるように、仲介役となって黒子的にサポートすることを大切にしたい。

1．施設の運営に関する業務

(1)ロッカー利用の承認、取消し等に関する業務

事務所を持たない NPO に対して、機材などの備品や書類保管のためにロッカーを貸出。

58 団体(大:12 団体　小:46 団体)

消費税増税に伴いロッカー利用料が改定され、10 月 1 日より、大型ロッカーのみ、利用料は 10 円引き上げられ、410 円/月となった。

(2)視察対応に関する業務

他市からの行政・議会等の視察に対する施設内外の案内及び説明。

5 月 28 日(火)	センター運営・事業についての情報交換	あいかわ町民活動サポートセンター	10 名
8 月 13 日(水)	センター運営・事業についての情報交換	ふじのくに東部 NPO 活動センター	3名
10 月 30 日(木)	センター運営・事業についての情報交換	ひらつか市民活動サポートセンター、平塚市協働推進課	2名
1 月 9 日(金)、30 日(金)	センター運営・事業についての情報交換	鎌倉市地域のつながり推進課	6名

(3)ロッカー、レターケース利用団体宛のファックス及び郵便物の取り次ぎに関する業務

市民から市民活動団体、市民活動団体同士の物資・情報の仲介をした。109 件。

・復興支援物資の仲介(12 月 13 日～12 月 23 日)

Team Aid for Japan(TAJ)～しょうなん茅ヶ崎災害ボランティアによる「南三陸にお餅を届けようプロジェクト」

(4)防災設備チェックおよび職員の災害・緊急時対応訓練

利用者の安全を守るために、防災倉庫内の防災用備蓄品の在庫状況を確認し、倉庫内備蓄品リストを作成。

8 月 20 日(水)	普通救命講習会(職員対象) 講師:茅ヶ崎市消防本部救命課職員および応急手当普及員	応急手当の基礎知識 心肺蘇生・AEDの手順説明・実技 館内設置 AED のアラーム確認等	14名
9 月 1 日(月)	かながわシェイクアウト(利用者・職員対象) いっせい防災行動訓練	神奈川県シェイクアウト訓練音声ガイダンスを利用。	20名

(5)ピンク電話の撤去

ピンク電話の利用が減少するなかで FAX 送信の不具合が生じたため 3 か月間の周知の後、11 月に撤去した。

2．市民活動の支援及び市民活動推進のための効果的な事業等の企画に関する業務

(1) 市民活動に関する情報収集及び提供に関する業務

ア. 市民活動に関する図書の選定、購入及び管理

・利用者からの寄贈図書が増えた。新書では子育て関連や一般教養・実用書類が多かった。

・利用者が読みたい本を分野ごとに絞り込み、貸出の利便性を向上。

・定期購読(神奈川新聞・ウォロ・ビッグイシュー)

イ. 市民活動団体、関係機関が発行する機関紙等、市民活動に関する関係資料等の収集及び管理

・市民活動団体の「講座・学ぶ」、「映画・コンサート・読み聞かせ」、「体を動かそう」、「会員・ボランティア募集」等コーナーごとに見やすく、わかりやすく掲示。

・助成金、市民公募やパブリックコメント、県内公共施設のチラシなど、情報を収集し提供。

ウ. サポートセンター情報紙の発行(年 3 回以上)およびホームページへの掲載

・「さぽせんニューズレター」夏号(5/25)・秋号(9/25)・春号(2/1)・春号(3/30)　各号 2,000 部を発行。

・委任事業の報告および開催告知など、年間の実施事業や統計情報を網羅した内容を掲載。

特に夏号では、サポートセンターが提供するサービスやイベント・プログラム、支援内容について特集し、年間を通して施設案内の紹介資料として活用した。

・市内公共施設ならびに館内配架の他、市民活動団体データベース登録団体、近隣自治体のボランタリー支援施設、市内協力団体・個人・企業へ配布。

エ. 市民活動団体データベースの作成・管理およびそれを基としたガイドブックの編集・発行、ホームページへの情報掲載

・データベース登録団体に対して掲載内容および個人情報公開の可否を確認し毎年発行。

・年間を通じて団体情報が変更になった場合は即時に修正し、更新。また新規申込があった場合、データベースの作成、随時ホームページにアップロード。

・同掲載団体より毎月 1 団体を広報ちがさき「市民の活動だより」に随時紹介。

・5 月、データベース登録 315 団体に「ガイドブックに関するアンケート調査」を実施した。

オ. 情報コーナーの管理(各団体のチラシ、ポスター等の掲示物の受付管理等)

・分野別に館内掲示。市民活動団体ごとの活動及び他市の情報紙、タウンニュース、広報ちがさき等のメモリーファイルも含め (197 件)にも活動履歴を紹介。

・月次、WEB 版市民活動団体イベント一覧とカレンダー表示を随時更新。

・データベース登録団体にニューズレターやイベント案内などを郵送・メール・FAXにて情報提供 86 件。

市民活動団体より受け付けたチラシ・ポスターの内訳

ｲﾍﾞﾝﾄ・講座 セミナー	広報紙 機関紙	会員・ ボランティア募集	補助金 助成金	地域紙	その他	合計
1174	661	115	44	181	126	2347 (前年比 119 %)

カ. サポートセンターホームページの維持管理

・ホームページデータ全体見直しをすることでの容量のスリム化ができた。

・ガイドブック WEB 版の更新、修正追加、新規登録を行い対応した。
・blogn を使用し、団体からのイベント 600 件、センターの事業告知・報告 37 件、助成金等 65 件を提供。
・センターの貸し出し備品はトップページからリンクできるようにし、同じページから申込み可能になった
・年間アクセス数:151,857 件(前年比 111%)
・スタッフが Twitter でセンターの最新情報を告知した。2015 年 4 月 30 日現在、フォロワー数 200 名(団体)

(2)市民活動に関する相談並びに連絡調整に関する業務

ア. 相談(92 件)

毎月 1～2 回、事務局長による特別相談日を設けて対応した。

7 月からはラスカ茅ヶ崎 C-square にて毎月 11 日にボランティア相談を、また 10 月～12 月はイオン茅ヶ崎店の AE+でも毎月第 2 月曜日に相談を行った。商業スペースということで、市民活動について特に意識していない人たちにも関心を持ってもらうことができた。

1) 市民活動団体、NPO 法人からは、協働推進事業やげんき基金助成に関する相談が多かった。
2) 団体の運営に関する相談件数は昨年度の約 2 倍。活動 PR の機会や場所を求める団体には、C-square や AE+を紹介し、活用してもらうことができた。
3) 「かながわ子ども子育て支援大賞」に片山どんぐり氏を推薦し第一次審査を通過、ソロプチミスト社会ボランティア賞}に茅ヶ崎トラストチーム高橋玲子氏を推薦し、受賞することができた。
4) 地域福祉交流会を、ラスカ茅ヶ崎にて関連開催する仲介

相談の内容

施設の利用	サポセン主催事業	協働事業	各種助成制度	団体の運営	NPO法人	ボランティア	企業の社会貢献	その他
1	14	6	8	45	2	31	3	19

相談者の内訳

個人	市民活動団体(自治会含む)	NPO 法人	福祉施設	学校	企業	行政
30	58	12	0	9	7	13

(3)市民活動推進のための事業の実施及び市民活動団体、市民、事業者、行政との連携推進に関する業務

ア. 市民活動推進のための講演会、講座等の実施(年 3 回以上)

1) NPO 講座の実施

今年度は、テーマに関連した複数のゲストを招き、講義+個別相談のスタイルをとることで、参加者のニーズに合わせより実践的な内容でスキルアップを図ることができた。

開催日	概要	参加人数
10 月 11 日(土)	**市民活動団体のためのまちメディア活用大作戦!!** 市民活動団体&まちメディアが出会い、つながる交流会を開催。 活動を効果的に PR するため、6 社とネットワークを築き、担当者の心を動かす表現・書き方など、掲載ポイントやコツを学んだ。 ゲスト:神奈川新聞社、㈱タウンニュース社、㈱湘南リビング新聞社、湘南新聞販売㈱、㈱ジュピターテレコム、(特非)湘南スタイル	25 団体 34 名
2 月 21 日(土)	**NPO の保険まるわかり**	8 団体

	『ボランティア活動保険・行事用保険（ふくしの保険）』、『NPO 活動総合保険』『市民活動等災害補償制度』計 3 種類の保険について、補償対象者や内容を事例紹介・Q&A を通して学んだ。 ゲスト：迫田元就さん（損害保険ジャパン日本興亜株式会社） 江澤城司さん（パワーリンク株式会社） 富田雄也さん・石津貴美子さん（茅ヶ崎市市民自治推進課）	10 名

2） よるカフェの実施

よる＝夜～寄る～縁る～　出会い、つながり、生まれる・・・はじまりのきっかけは、よるカフェ。

夜間の利用促進と、これから何か始めたい人たちが出会い交流し活動のきっかけづくりとしてもらうことを目的に、4 回、サポートセンターにて開催した。今年度は、午前中や午後の時間帯にも開催したこと、また AE+でも開催したことで、幅広い世代に参加してもらうことができた。

開催日	概要	参加人数
6 月 27 日（金） 10:00～12:00	**第 5 回　＜朝から＞よるカフェ「子どもと過ごす　豊かな時間」** ゲスト：片山どんぐりさん（音のひろば主宰、おもちゃコンサルタント） “子育て中の今だからできる楽しいこと”“豊かとは何か”について考える交流会。	35 名
8 月 22 日（金） 18:30～20:30	**第 6 回　よるカフェ「フェアトレード～しあわせつづく、支援のかたち」** ゲスト：永田恵子さん（「ネパールとの架け橋　ねぱるぱ」代表） 「貿易ゲーム」とお話を通して、世界経済のしくみや国家間格差、支援のあり方について学び考える交流会。	29 名
10 月 24 日（金） 18:30～20:30	**第 7 回　よるカフェ「ひとりのちから～私の思いと被災地支援」** ゲスト：小野間　博さん（Team Aid for Japan～しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア） 南三陸の仮設住宅に暮らす人々が笑いを取り戻した落語「初天神」上演と自分にできる支援、これからの被災地支援について考える交流会。	23 名
12 月 21 日（日） 13:30～15:30	**第 8 回　＜昼でも＞よるカフェ「おくりもの～誰かのために、自分のために」** 場所：AE＋（イープラス） ちがさきサポセン☆ワイワイまつりの来場者プレゼント用の小物作りのボランティア体験交流会。	24 名

イ. 市民活動フォーラム（市民活動の PR 及び団体交流のためのイベント）の実施（年 1 回以上）

ちがさきサポセン☆ワイワイまつり 2014 の企画・実施

茅ヶ崎をより良いまちにしようと活動する人たち同士が、①市民活動の楽しさ・おもしろさを多くの市民に伝え、②互いの活動を知り、交流を深め、③力を合わせてまちづくりに取り組むきっかけにすることを目的に開催。

今年のまつりでは、①新しい関係が生まれる喜び、②相互理解によりイベントを盛り上げる楽しさ、③まつりの当事者意識を高めることを目指した。市民活動団体とともに、企業・大学・行政も参加し日頃の活動 PR と交流を行った。運営はスタッフ他のべ 82 名のボランティアとともに行い、参加・協力 75 団体(初参加 18 団体)、来場者数は生憎の天候だったため約 1,200 名だった。また、今回は借用備品搬出入時の安全性に配慮して、参加団体の企画に必要なテント・机・椅子等は個々に自己持ち込みとした。自己調達できない団体にはレンタル備品の仲介を行った。参加

団体から「市民の方々に活動を伝えられた」「後日、市民から活動に関しての連絡をいただいた」「団体同士が一緒に盛り上げよう、助け合おうという気持ちから暖かな交流が芽生えた」との嬉しいふりかえりの感想が寄せられた。

開催日	概要	参加人数
3 月 7 日(土)	参加するたび　私のまちが　好きになる―テーマは「LINK！」 内容：模擬店、物品販売、体験、ステージ、オリジナル企画、スタンプラリー、東北大震災復興支援テント、イザ！カエルキャラバン！・かえっこ、オークション、さぽちゃんポスト寄贈式ほか 会場：中央公園	来場者 約 1,200 名 参加・協力 75 団体

ウ. 市民活動ネットワーク会議に関すること

研修等を通じて近隣支援センター等との連携や情報交換も日常的な支援に役立てることができた。

開催日	概要	参加人数
4 月 22 日(火)	ボランティアだらけの大交流会`@文教大学	1 名
4 月 25 日(金)	平成 24 年度大和市市民活動推進補助金事業報告会	1 名
6 月 13 日(金)	神奈川県協働事業負担金・ボランタリー活動奨励賞・募集説明会@茅ヶ崎市民活動サポートセンター	6 名
6 月 27 日(金)	NPO 支援組織のための研修会 2014	2 名
7 月 16 日(水) 7 月 17 日(木)	NPO 支援センター初任者研修 2014 社会課題の解決のために求められている NPO 支援センターの役割とは	4 名
6 月 3 日(火)～7 月 29 日(火)全 5 回	まち記者養成講座@かながわコミュニティカレッジ	2 名
6 月 28 日	綾瀬市きらめき補助金助成事業実施報告会	1 名
7 月 8 日(火)	ボランタリー活動支援施設 CEO ミーティング～センターと市町支援施設	1 名
7 月 19 日(土)	文教大学大学院国際協力研究科シンポジウム 非営利セクターが切り拓く未来	2 名
10 月 4 日(土)	文教大学大学院市民社会研究会「市民社会と福祉社会」	2 名
12 月 3 日(水)～ 2 月 18 日(水) 全 5 日間	NPO マネジメント人材育成研修フィールドワーク 地域課題の解決に不可欠な人を巻き込む「場づくり」の技術	1 名
2 月 20 日(金)	第 11 回日本パートナーシップ大賞	2 名
2 月 26 日(木)	魅せる・伝わる・動かす　事業報告書の作り方	1 名
2 月 28 日(土)	全国地域ボランティアコーディネーター研究集会	2 名
3 月 5 日(土)	平成 26 年度大和市市民活動推進補助金説明会	1 名

エ. NPO等と行政の協働に向けた意見交換会の実施

NPO 等と市職員が対等な立場で茅ヶ崎の様々な課題を共有し、それぞれの立場でできること・アイデアを持ち寄って、協働推進事業実施への可能性や、協力し合うことができる接点を探る話し合いの場。

テーマごとに NPO 法人 NPO サポートちがさきスタッフと市民自治推進課職員がコーディネーターを務めた。

【参加】NPO・企業等:9 団体　行政:のべ 26 市担当課　★成案化:3 件

	テーマ	NPO 等	行政
7 月 26 日(土)	新たなアプローチによる「景観まちづくり」の他地域への水平展開　他	富士ゼロックス神奈川㈱ まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎	景観みどり課、秘書広報課、産業振興課、社会教育課、市民自治推進課
7 月 29 日(火)	文字通り安全な通りにするには	ラチエン通りの安全安心を進める会	安全対策課、道路管理課、都市政策課
	スポーツ関係団体やイベントの情報提供の拡大	認定 NPO 法人 湘南ふじさわシニアネット	スポーツ健康課、文化生涯学習課
	人と環境に優しい、茅ヶ崎に似合う外出支援事業について	サイクルキャビン	安全対策課、スポーツ健康課、高齢福祉介護課、障害福祉課
	平成 25 年度以来の交流からつながる企業・NPO・行政・大学の交流ネットワークの拡充	特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき	市民自治推進課、企画経営課、産業振興課
	学校の ICT 化推進への情報提供と支援について	認定 NPO 法人 湘南ふじさわシニアネット	教育政策課、学校教育指導課、教育総務課
8 月 1 日(金)	芸術を介した“茅ヶ崎発”の子育て支援の確立と実践	アートケアひろば	こども育成相談課、文化生涯学習課、教育センター
8 月 4 日(月)	未就学児の親の新しい働き方の提案～職住近接で、地域に根差した育て方・暮らし方～	うみのあお、そらのあお	子育て支援課、男女共同参画課、雇用労働課

オ. 協働推進事業及び市民活動げんき基金助成事業に関する諸手続きにおける市民活動団体への支援

協働推進事業・市民活動げんき基金(共通)

事業実施または実施予定の市民活動団体の相談(申請書の書き方、プレゼンテーションの方法、事業の進め方等)に対応し、アドバイスした。また実施団体募集チラシを市民活動データベース登録約 300 団体に送付して情報提供した他、下記のイベントに参加し、相談対応に役立てるための情報収集に取り組んだ。

開催日	概要
5 月 18 日(日)	**平成 25 年度実施　市民活動げんき基金助成事業・協働推進事業実施報告会** 場所:茅ヶ崎市役所分庁舎 6 階コミュニティホール
11 月 1 日(土)	**平成 27 年度実施　協働推進事業公開プレゼンテーション** 場所:茅ヶ崎市役所分庁舎 6 階コミュニティホール
3 月 21 日(土)	**平成 27 年度助成事業選考のための市民活動げんき基金公開プレゼンテーション** 場所:茅ヶ崎市役所分庁舎 6 階コミュニティホール

市民活動げんき基金助成事業

事業実施または実施予定の市民活動団体を支援するため、下記のイベントを市と連携して取り組んだ。

これにより、①市民活動団体の相談に対応できる機会が増加し、②助成事業について企画段階から情報共有できるようになり、③事業の実施・報告、その後の展開において、アドバイスしやすい関係を築くことができた。

開催日	概要	参加団体
5 月 1 日(木)	**進め方説明会** 事業を円滑に進めるための説明会を実施。 場所:ちがさき市民活動サポートセンター	6 団体
1 月 16 日(金)、17 日(土)	**伝わる！企画書作成会** 企画書・申請書類の書き方を中心に、市民活動げんき基金の仕組み、公開プレゼンテーションの進め方などを説明。 場所:ちがさき市民活動サポートセンター	8 団体
平成 27 年 3 月 10 日(火)、19 日(木)	**伝わる！報告書作成会** 事業終了後に提出する実績報告書の作成方法について説明。 場所:ちがさき市民活動サポートセンター	4 団体

AE＋イープラス　　みんなの〝いいこと〟広がった！　イオン×茅ヶ崎市×NPO

イオン茅ヶ崎店「旧サティ」の 1 階ガラス張りのスペースが、市民活動団体や茅ヶ崎市が行うイベント・交流・情報発信の拠点として、2014 年 9 月 30 日(火)～12 月 26 日(金)までの期間オープンした。スペースの愛称は AE＋イープラス。〝AE”ON で新しい〝いい〟ことがつながる(プラスする)場になってほしいという願いが込められた。新しい出会いや人と人との交流が生まれ、たくさんの可能性を感じた 3 ヶ月間となった。17 団体による 20 企画を開催し、来場者数はのべ 400 人になった。

開催日	提案団体	イベント名
9 月 30 日(火)	茅ヶ崎市・NPO 法人 NPO サポートちがさき	オープニングイベント
10 月 13 日(月・祝)	NPO 法人 NPO サポートちがさき	サポセンサテライト相談
15 日(水)	茅ヶ崎郷土会	茅ヶ崎かるたであそぼう！
24 日(金)	きらきらぼし　子育ちを応援する会	えいごであそぼう！かんたんおもちゃをつくろう
24 日(金)	NPO 法人ちがさき自然エネルギネットワーク	太陽光発電なんでも相談
11 月 9 日(日)	大きな木～湘南の子どもの未来を考える会～	家族みんなでカンタン小児はり講座
10 日(月)	NPO 法人 NPO サポートちがさき	サポセンサテライト相談
12 日(水) 13 日(木)	湘南サドベリースクール	サドベリーマーケット
14 日(日)	フォークを唄おう！	まなびの市民講師
20 日(木)	茅ヶ崎市農林水産課	持ち寄り柿品評会
24 日(月・祝) ～30 日(日)	認定 NPO 法人湘南ふじさわシニアネット	みんな集まれ!湘南ファミリー広場
12 月 2 日(火)	松林公民館	道から見える茅ヶ崎の歴史
5 日(金)～ 7 日(日)	社会福祉法人　翔の会	翔の会　製品市

8 日(月)	NPO 法人 NPO サポートちがさき	サポセンサテライト相談
12 日(金)	フォークを唄おう！	まなびの市民講師
13 日(土)	コーヒー1 杯から始まる国際協力	ネパールとの架け橋　ねぱるぱ×文教大学 Calmia
14 日(日)	NPO 法人 paw pads	犬猫里親会＋しつけ教室
18 日(木) 19 日(金)	福祉・介護農園普及推進会	イメージが変わる！スマイルケア食
20 日(土)	湘南 artTV「湘南 SHOW 点」	気軽にアートを楽しもう！
21 日(日)	NPO 法人 NPO サポートちがさき	昼でもよるカフェ　おくりもの　～誰かのために、自分のために～
26 日(金)	歌声サロン「チーパッパ」	ふるさと・茅ヶ崎を唄おう！第 6 弾

カ. 市民活動団体・市民・事業者・行政の連携支援

1） イザ！カエルキャラバン！の後方支援

小さな子どもから参加でき、防災・減災・救助について楽しく学び、家族連れでにぎわう新しい形の防災体験プログラム「イザ！カエルキャラバン！」を実施するためのノウハウを伝授した。開催までに各地で 2 回の事前説明会を開き、阪神淡路大震災の教訓をもとにカエルキャラバンのプログラムが作られた経緯や、当日の役割分担、プログラムの実習を行った。また、カエルグッズの貸与・貸出を行って、防災の「知恵」や「技」を身につけ、地域の防災力のアップにつなげる支援を行うことができた。サポートセンターの事業として定着し、地域の防災訓練だけでなく子ども会や推進協の子どもたちを対象にした防災訓練として実施できた。

開催日	概要	参加人数
9 月 27 日(土)	**小和田学区子ども会で「イザ！カエルキャラバン！」実施** 場所：小和田小学校	108 名
10 月 19 日(日)	**湘北地区自治会連合会で地域の防災訓練プログラムとして参加協力** 場所：鶴が台中学校	380 名
10 月 26 日(日)	**ちがさき消防防災フェスティバル出展エリアに市民活動団体とともに参加** 場所：TOTO㈱茅ヶ崎工場	
11 月 16 日(日)	**松浪地区自治会連合会、松浪地区まちぢから協議会で地域の防災訓練プログラムとして参加協力** 場所：松浪小学校	100 名
11 月 22 日(土)	**香川推進協子ども大会「香川 Kids 逃走中ドキドキ ワクワク遊び de 防災みんなでチャレンジ！」に協力** 場所：香川小学校	335 名
3 月 9 日(月)	**みんなの知恵が集まる展～防災・減災～に「家族で楽しく防災“イザ！カエルキャラバン！”」で防災プログラムの紹介** 場所：ラスカ茅ヶ崎店 4 階　c-square	
3 月 29 日(日)	**浜見平地区まちびらきイベントで「イザ！カエルキャラバン！」を実施** 場所：しろやま公園	1000 名

3 月のさぽせんワイワイまつりの「イザ！カエルキャラバン！」コーナーでは、カエルキャラバンを開催した自治会等からのボランティア協力を得て、多くの市民に体験型の防災プログラムを提供することができた。また、おもちゃの

かえっこを実施したことで大勢の子どもたちの参加があった。

2） 研修受入・主な講師派遣

・主な研修の受入

12 月 10～18 日	茅ヶ崎市民間企業等派遣研修(5 日間)	茅ヶ崎市役所市民自治推進課職員	1名
12 月 18～22 日	茅ヶ崎市民間企業等派遣研修(5 日間)	茅ヶ崎市役所雇用労働課職員	1名
1 月 6～17 日	茅ヶ崎市民間企業等派遣研修(10 日間)	茅ヶ崎市役所下水道総務課職員	1名

・主な講師派遣

4 月 10 日(木)	新採用職員研修講座(前期)	茅ヶ崎市役所職員	47 名
6 月 20 日(金)	ボランティア大学講座 「市民活動分野について」 場所:さがみ農協ビル 5 階大会議室 共催:茅ヶ崎ボランティア連絡会・茅ヶ崎市社会福祉協議会	福祉領域のボランティア活動 初心者	80 名
10 月 3 日(金)	新採用職員研修講座(前期②)	茅ヶ崎市役所職員	22 名
12 月 11 日(木)	ちがさき健康づくり講座 「市民活動について」	食生活改善推進員養成講座 第 16 期生	23 名
1 月 22 日(月)	社会人講話 場所:神奈川県立深沢高等学校	1 年生	120 名
2 月 6 日(金)	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座 「茅ヶ崎の 30 代の市民活動」 場所:市民ギャラリー	一般	30 名

(4)市民活動団体の育成に関する業務

ア.「ユースボランティア茅ヶ崎」の実施

中学生から大学生くらいまでを対象にボランティア活動への理解を深め、新たな参加者を発掘するために(社福)茅ヶ崎市社会福祉協議会と共催している。 体験先として、高齢者・障がい者・子ども福祉、子育て・保育、環境保全、芸術文化、動物愛護、海外支援にかかわる 19 団体が受入れた。 ボランティア体験から社会の一員としての意識とその成長を促し、地域社会の課題と向き合う市民活動の芽を育む活動にもなっている。

開催日	概要	参加人数
7 月 17 日(木)、18 日(金)	オリエンテーション　場所:さがみ農協5階　大会議室 茅ヶ崎市民活動サポートセンター	116 名
7 月 23 日(土)～29 日(火)	個別オリエンテーション	7 名
7 月 23 日(水)～9 月 15 日(月)	ボランティア体験期間(2 日以上の体験)	110 名
8 月 27 日(水)	カフェ de ボランティア　場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター	45 名

イ.「地域ボランティアエアポート」

高校生のボランティア活動を支援する拠点として周知され夏休み以外の受入も仲介。茅ヶ崎高校ボランティア同好会については、継続的にサポート。茅ヶ崎高校定時制には、受入団体を紹介。また、鶴嶺高校生ほか希望者に

個別に、東北復興支援の募金活動など、ボランティア活動の仲介を行った。

開催日	概要	参加人数
6 月 11 日(水)	地域貢献活動・ボランティア活動説明会 場所:総合教育センター善行庁舎 全県立高校の教諭 10 地区 20 施設ボランティアエアポート担当者と情報交換	2 名
2 月 25 日(水)	地域ボランティアエアポート連絡会 場所:横浜市市民活動支援センター 各地域ボランティアエアポートにおける高校生への支援の状況ほか	2 名
毎月第 3 火曜	茅ヶ崎高校ボランティア同好会校外活動としてボランティア受入(ユースボランティアやワイワイまつりの準備など)	4 名
随時	高校生と団体・施設とのボランティア仲介	

ウ. 総合的な学習の支援

課題を見つけ自主的に活動を行う人との出会いやふれあいの中で中高生にできるボランティアを知る。活動団体の生の声を聞き、これまで他人事であった社会課題を自分のこととして捉えることができるようになる。生徒がボランティアや進路についてじっくり考える貴重な機会となった。

開催日	概要	参加人数
11 月 21 日(金)	「ボランティア塾 in 鶴嶺高校」1 年生の授業(講師派遣)。 ①全体学習(同校体育館)。1 年のボランティア塾から発展して被災地ボランティアを行った現 2 年生 4 名と卒業生の支援について纏めた DVD 上映と資料を配布し、センター長による講義。 ②生徒が希望団体の講義・ワークショップを受講。(同校各教室等) (市民活動団体 15 団体)	360 名
3 月	ニート予防をめざした金銭基礎教育プログラム「マネーコネクション」を市内県立私立高校に情報提供	

エ. かながわイーパーツリユースPC寄贈プログラム

認定 NPO 法人イーパーツ協力のもと、「団体所有の PC で情報収集や情報発信を積極的に行いたい」市民活動団体へ、企業提供のリユース PC を寄贈し、活動を支援するプログラム。藤沢・茅ヶ崎・小田原・大和・座間・平塚・綾瀬・相模原の NPO 支援センターが連携・協力して合計2回実施した。

神奈川県内の市民活動状況について情報共有を図られるとともに、中間支援組織スタッフの IT スキルアップやつながり促進の機会となっている。

開催日	概要	寄贈団体数
8 月 31 日(日)	**第 10 回 寄贈式および寄贈団体向け講習会** 県内合計 31 団体に寄贈・参加。場所:小田原市民会館 市内寄贈団体:NPO 法人セカンドブックアーチ、チーム団 cha	2 団体 (茅ヶ崎)
3 月 9 日(日)	**第 11 回 寄贈式および寄贈団体向け講習会** 県内合計 19 団体に寄贈・参加。場所:大和市勤労福祉会館 市内寄贈団体:茅ヶ崎市ターゲット・バードゴルフ協会	1 団体 (茅ヶ崎)

オ. さぽちゃんポスト(切手寄贈プログラム)

家庭に眠っている未使用切手を預かり、市民活動団体へ寄贈する事業が定着し、今年度は 10 名の方々から 37,000 円の切手が寄せられた。また、10 団体へ合わせて 10 万円分の切手を贈ることができ、3 月 7 日(土)ワイワイまつりで寄贈式を行った。寄贈先団体からは、さぽちゃんポストによって情報発信の充実・通信費の軽減による副次的効果等感謝の言葉が寄せられた。

開催日	概要	寄贈団体数
2 月 13 日(金)	審査会:審査員 4 名、事務局 2 名にて開催 場　所:ちがさき市民活動サポートセンター	
3 月 7 日(土)	寄贈式:10 万円分を寄贈 場所:茅ヶ崎中央公園(ワイワイまつり) 不育症そだってねっと茅ヶ崎、NPO法人茅ヶ崎ユニバーサルデザインスクエア地域活動支援センター楽庵、茅ヶ崎の社会教育を考える会、茅ヶ崎市聴覚障害者協会、茅ヶ崎良い映画を観る会、まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎、特定非営利活動法人ウェルフェアポート湘南、つなぎの会茅ヶ崎、ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト、NPO法人湘南ふくしネットワークオンブズマン	10 団体

カ. NPO サポーターズ制度

NPOのスキルアップやサポートセンターの運営を支えるプロボノ的ボランティア「さぽせんサポーターズ」の登録制度は 2013 年度より「NPOサポーターズ」に改称。広くNPOの会計・労務・情報発信などを支援することが期待されたが、コーディネイト機能が整わず、活躍の場を提供するまでに至らなかった。

NPO 法人コネット湘南の「パソコンなんでも相談」は、サポートセンター内で第 1 火曜日、ラスカ茅ヶ崎C-square では第 3 火曜日に開設され、ハード・ソフト両面で合わせて 30 名の支援が行われた。

3. 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務

・四半期ごとに指定管理業務実地調査が行われ、おおむね優良であることが確認された。

(1) 花壇整備

花壇ボランティア(NPO サポーターズと会員)による植栽デザイン、適切な施肥と除草により、四季折々の草花が道行く人々の目を楽しませ、サポセンの顔として好評を得ている。夏には建物西側の窓を覆うようにゴーヤのカーテンを育て、利用者と分かち合うゴーヤ収穫の喜びを「ゴーヤ募金」に寄付した。

(2)環境への取り組み

・キャノピースイッチによる不要な照明の消灯など節電に努めた。

・飲食を伴う大規模なイベント(ワイワイまつり)ではエコトレイを推奨するなどゴミの削減を図った。

・市民立太陽光発電所(れんこちゃん 1 号)については、毎月初めに電力量を計測し、NPO 法人ちがさき自然エネルギーネットワークに報告を行った。

(3)C-ブックによる地域資源の活用ならびに社会貢献活動の推進

ガイドブックデータベース登録団体に対して、ちがさき地域通貨 C-リングの循環による社会貢献活動の推進をめざした貸スペース「ハスキーズギャラリー」の使用を仲介。(使用料の半額を充当) 今年度 4 件貸出

(4)サポセン内の珈琲販売コーナーが OPEN

2014 年 6 月、サポートセンター内に〝ワンディカフェ・ねぱるぱ〟が OPEN。運営にあたってきたのは、市民活動団体「ネパールの架け橋 ねぱるぱ」。フェアトレード商品であるネパールのオーガニック珈琲、みらまーるのクッキーなどを販売。多くの来館者に好評だったが、3 月 31 日にカフェが終了した。

(5)パソコン何でも相談

毎月、第 3 火曜日に NPO 法人コネット湘南による「パソコンなんでも相談」が開催され、パソコン利用に関するソフトとハード両面でのサポートが行われ延べ 20 名が利用した。

(6)印刷機サポートスタッフの取り組み

2007 年度より、障がい者の就労に向けた作業訓練の場を提供する「印刷機サポートスタッフ制度」を導入した。
また、2012 年度より、就労に向けた支援を充実させるために障がい者キャリアアドバイザーの協力を得て「キャリア支援」を位置づけて、3 か月の試行期間が終了後、3 か月ごとに目標や達成状況の振り返りを行ってきた。今年度は身体に障がいのある女性を受け入れ、理事兼務の職員がサポートしながら作業訓練が行われ 2015 年 5 月をもって終了する。

以上